

P R E S S R E L E A S E

2017年10月17日

会 社 名 株式会社 Ubicom ホールディングス
代表者名 代 表 取 締 役 社 長 青 木 正 之
(コード番号：3937 東証マザーズ)
問合せ先 執行役員コーポレート本部長 豊福 政博
(TEL. 03-5803-7339)

『日本－フィリピン・ビジネス投資フォーラム 2017』にて特別講演を行いました

本日、日経ビジネス企画編集センター（日経 BP 社）主催、駐日フィリピン共和国大使館共催の『日本－フィリピン・ビジネス投資フォーラム 2017』において、当社が特別講演の依頼を受けて当社取締役 グローバル事業担当 石川 正史が登壇、当社がグローバルに推進するビジネスモデルや開発実績および日本とフィリピンの友好関係や経済協定に基づく IT 人材リソースの活用等につき紹介いたしました。

主にフィリピンをベースに、日本語・英語のバイリンガルスキルを有する優秀なエンジニアを活用したオフショア開発を手掛ける株式会社 Ubicom ホールディングス（旧商号：株式会社 AWS ホールディングス / 本社：東京都文京区、代表取締役社長：青木正之、証券コード：3937）は、フィリピン子会社において、第11回「国際 ICT アワード」にてフィリピン全土で NO.1 カンパニー（「ベストカンパニー」）に選出されており、この度、「オフショア開発のパートナーから企業のデジタイゼーション、デジタルトランスフォーメーションのパートナーへと進化するフィリピンソフトウェア産業」と題して特別講演を行いました。

講演においては、加速するデジタルトランスフォーメーションに係る提言およびデジタルトランスフォーメーションを成功に導く戦略的なパートナーとしてのフィリピンIT産業の魅力・強みについても、最新の動向を織り交ぜ、説明いたしました。

株式会社 Ubicom ホールディングス 取締役 グローバル事業担当 石川 正史 講演模様



現在、世界中でデジタルトランスフォーメーションは加速しており、日本でも、国際競争の中での生き残りをかけて、企業が優先的に取り組む課題となっております。また、IT の位置づけが「事業支援」から「事業遂行」に変化し、先進的な企業は IT のサービス化が喫緊の課題となっております。このようなデジタルエコノミーが到来するなかで、デジタルトランスフォーメーションを成功に導く「戦略的なパートナー」が必要となり、それらパートナーへは、基盤技術のクラウド・モバイル技術をはじめ、AI/ビックデータ分析に強みを持つ、若くて優秀な技術集団であることが求められます。

当社はこのような時代に先駆け、独自のモバイルソリューションや分析プラットフォームを開発、これまでヘルスケア分野におけるモバイル・テレメディスン・ソリューションの開発や、製造業向け IoT 向けソリューション開発に係る受注を積み上げてきた実績があり、これまで当社の優秀な IT エンジニアリソースを活用したい大手企業との協業パートナーシップに向けての問い合わせを多数いただいております。

今後も絶え間ない技術進歩が続くデジタルトランスフォーメーション分野において、当社はグループ内の先端テクノロジーを結集し、アナリティクスや自動化、AI に代表される、当社独自の技術アセットを組み合わせ、いわゆる DX (デジタルトランスフォーメーション) プラットフォームとなるクラウドやモバイル、ソーシャル技術を組み合わせたソリューションの実現を目指し、今後は企業のデジタルトランスフォーメーション発展の一翼を担うべく果敢に挑戦してまいります。

<講演概要>

- 名 称 : 日本－フィリピン・ビジネス投資フォーラム 2017
- 日 時 : 2017 年 10 月 17 日 (火) 14:00～14:20
- 会 場 : イイノホール (東京都千代田区内幸町 2 丁目 1-1 飯野ビルディング 4F)
- タイトル : 「オフショア開発のパートナーから企業のデジタイゼーション、デジタル
トランスフォーメーションのパートナーへと進化するフィリピン
ソフトウェア産業」
- スピーカー : 株式会社 Ubicom ホールディングス取締役 グローバル事業担当 石川 正史
- U R L : <http://ac.nikkeibp.co.jp/nb/phl/2017/>
- 本件に関する問い合わせ : <http://www.ubicom-hd.com/about-us/contact-us.html>

以 上